

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 8月 31日

【評価実施概要】

事業所番号	0170400907		
法人名	株式会社さくらコミュニティサービス		
事業所名	満快のふる郷さくら発寒		
所在地	札幌市西区発寒6条14丁目17-33 (電話)011-668-3987		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年8月8日	評価確定日	平成19年8月31日

【情報提供票より】(平成19年7月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年8月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 16人, 非常勤 0人, 常勤換算 16人	

(2) 建物概要

建物構造	RC 造り
	2階建ての 1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	20,000~30,000 円
敷金	(有)(210,000円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(無) (円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(7月10日現在)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護1	6	要介護2	4
要介護3	6	要介護4	2
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 80 歳	最低 65 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	宮の沢総合クリニック・たにぐち歯科・いなべ医院・札幌西歯科クリニック
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所の敷地内には花壇や野菜畑があり、利用者と職員が一緒に楽しみながら毎日草花の手入れを行っている。事業所内全体が広々としており、居間・台所・廊下など職員の目配りが行き届くような造りになっている。事業所として認知症の啓発に取り組むと共に、地域との連携を密に取れるよう努めている。今後、ますます期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での改善課題を踏まえ、利用者の権利・義務については重要事項説明書と契約書に明示している。また、玄関周りについては塀に表札を掛け、地域に事業所を周知してもらえるよう努めている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で評価の意義を話し合い、自己評価に取り組んでいる。また、課題を真摯に受け止め具体的な改善に向けて取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1度実施している。6月に開催された会議での提案を受け、事業所前にゴミステーションを設置して地域住民にも利用してもらい、事業所の周知を図っている。また、課題となっている認知症の啓発に関しても地域から理解を得られるよう努めている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>毎月事業所便りを発行しており、家族に送付している。利用者の身体状況については、電話や手紙にて報告している。家族から意見・苦情を受けた際は職員間で話し合い、運営に活かしている。</p>
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>町内の行事に利用者が参加したり事業所の行事に近隣住民を招待するなど積極的に地域との交流を図り、事業所の孤立化を防ぐよう努めている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	これまでの理念に加え、事業所と地域との関係強化を謳った理念をつくり上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝・夕の申し送り時に理念の確認を行い、理念実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会行事や小学校の運動会に利用者が招待されたり、事業所の行事（桜祭り・七夕祭り等）に近隣住民も参加するなど地域との交流が図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価の意義を確認しながら全職員で取り組んでいる。管理者は外部評価の結果を真摯に受け止め、改善に向けて検討し実践に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	2ヶ月に1度実施しており、運営推進会議の目的・年間計画等を決め、地域住民の理解・支援を得られるよう努めている。		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	区の担当者や保健師と密に連絡を取っており、共にサービスの質の向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎月送付している事業所便りや、電話・手紙にて利用者の日常生活の様子や職員の異動について家族に報告している。	○	金銭出納に関しては家族の確認後に承認印はもらっているが、家族の氏名・日付が記載されていないため、今後検討することが期待される。
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	来訪時に家族が気軽に相談できるような雰囲気作りに努めている。また、家族から意見・苦情を受けた際は職員間で話し合い、改善に向けて取り組んでいる。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員の異動があった際は利用者への言葉かけや対応に配慮し、利用者へのダメージを防ぐよう努めている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修のほか、それぞれの段階に応じた研修を受講している。受講後の報告書は全職員が閲覧できるように綴っており、職員の共有化を図っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	当事業所は全国グループホーム協議会に加盟している。また、地域の他事業所への見学会を通して日々のケアに活かす取り組みをしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用希望者の自宅を訪問して本人の情報を収集したり、利用者に事業所を見学してもらい納得してから入居となるよう配慮している。入居後も家族と相談しながらのケアに取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は“利用者は人生の先輩である”という考えの下に、料理を教えてもらったり利用者が喜びながら役割をもてる場面づくりに配慮するなど、支え合う関係が築かれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は利用者の言葉・行動・表情により一人ひとりの希望や意向の把握に努め、意思疎通が困難な利用者には家族から情報を得ながら本人本位に検討している。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>全職員でカンファレンスを行い家族の意見・要望も聞き、その人らしい生活となるような介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間は3ヶ月としているが、見直し以前に利用者に状態変化が生じた場合はそのつど家族と話し合い、介護計画の見直しを行っている。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療機関とも連携が取られており、通院の送迎や外出時の付き添いなど、柔軟な支援が実践されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族の希望する医療機関での受診支援を行っており、職員が送迎している。また、週に1度医師の往診や複数の医療機関との協力体制が築かれており、利用者が安心して過ごせるような環境が整えられている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用者が重度化した場合は、本人・家族・医師を含めて話し合いを行い、全員で方針を共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は一人ひとりに常に穏やかな対応を心がけ、本人のプライバシーを損ねることのないよう配慮している。また、全職員が個人情報保護法を理解しており、個人記録の取り扱いも慎重に行っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの体調を考慮しながら、本人の希望に沿った支援を行っている。また、買い物・散歩なども時間を決めず自由に外出できるよう柔軟な支援を実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの力量に合わせ食事の準備・配膳・後片付けなどを利用者と職員が一緒に行っている。また、和やかな雰囲気の中で共に食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりのその日の希望を確認し、昼食前や就寝前など好きな時間に入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者の生活歴を把握しており、料理や野菜作りなど楽しみながら本人の力が発揮できるような場面づくりを支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望に応じて散歩や買い物などの外出支援を行っており、利用者が満足できるようゆったりと時間を取っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は施錠しているが、日中は玄関に鍵をかけていない。利用者が外出しそうな様子の際には職員は安全面に配慮しながら見守り、自由な暮らしを支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の避難経路の確保や火災報知機の点検がなされている。しかし、年に2回実施されている避難訓練は職員のみでの参加であり、具体的な災害の想定や支援体制の整備までには至っていない。	○	今後、利用者も参加しての避難訓練を実施し、災害時用の水や食料の備蓄や薬品を確保しておくことが望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員に管理栄養士がいるため、栄養バランスの取れた献立が作られており食事量も記録している。	○	水分摂取量の記載がされていないことがあるため、今後は毎日一人ひとりの食事・水分摂取量を記録し、全職員が把握することが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間・廊下は広々としており、家具は利用者に配慮した配置となっている。また、採光・温度・湿度は常に調整されており、居心地良く過ごせる場所となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人が使い慣れたテレビ・たんす・装飾品が持ち込まれている。また、入り口には好みの簾が掛けられたりカーペットを敷くなど、一人ひとりが居心地良く過ごせるような工夫がなされている。		

 は、重点項目。